

令和 6(2024)年度後期 学生を対象とした授業評価アンケート結果

1. 概要

授業内容の改善により本学全体の教育の質の向上を図る目的で、学生を対象とした授業評価アンケートを実施した。対象科目は令和 6 年度後期に開講した科目のうち、実習科目を除いた 42 科目である。

2. 実施方法

1) 学生を対象とした授業評価アンケート <別紙 1>授業評価アンケート様式

(1) 実施日時

各科目の授業最終回

(2) 内容 <別紙 2>授業評価アンケートまとめ

- ① 学生自身の取り組み（授業に臨む姿勢 や態度、自己学習、授業を受けるマナーなど） 4 項目
- ② 授業の内容（量、難易度、満足感など） 6 項目
- ③ 授業の技法（教員の話し方、教材や板書の使い方、資料の活用など） 6 項目
- ④ 総合評価（教員の熱意、到達目標の達成具合、授業に対する満足感など） 4 項目
- ⑤ この授業を履修してよかった点とその理由（自由記述）
- ⑥ この授業を履修して改善してほしい点とその理由（自由記述）

※①～④については 4 段階評定（ 4：はい、1：いいえ、その中間に 2 と 3 を設ける）で回答を求めた。点数が高い方が評価も高い。

※実施にあたり、アンケートの目的、結果は統計処理により個人の匿名性が保たれること、答えたくない内容には答えなくてもよいことを説明し、アンケートへの回答をもってこれらの内容に同意したものと判断した。また一部に中傷ともとれる内容の記載が過去に見られたことから、教員に対する誹謗中傷や公序良俗に反する内容にならないよう注意した書き方をするようアンケート冒頭に説明を加えた。

(3) アンケートの配布・回答・回収は Google Forms で行った。

2) 授業評価アンケートに対する担当教員からの回答

(1) 実施方法

集計したアンケート結果と自由記述の内容を科目担当の教員に配布し、下記の内容の回答を依頼した。<別紙 3>授業改善報告書様式

(2) 回答内容

- ① 学生に対する回答（改善策） <別紙 4>授業改善報告書
- ② FD 委員会に対する意見（受講している学生の状況や課題等、授業評価アンケートに対するご要望、ご意見等）

※①について、大学ホームページで情報公開することで学生にフィードバックする。

【 年度 授業評価アンケート

この授業評価は、本学の授業と教育システムを改善するための参考資料となるものです。

学生の皆さんからのご意見を取り入れるため、ご協力をお願いします。

なお、このアンケートは成績評価等には一切影響ありません。

《お願い》

* 教員が複数で担当している場合は概ねの状況で判断し、特記事項については自由記述欄に記入してください。

* このアンケートは、皆さんの意見を反映させることにより授業をより良いものに行っています。

教員に対する誹謗中傷や公序良俗に反する内容にならないよう注意してください。

以下の質問について、あてはまると思う番号を選択してください。【科目名： _____】

1. 学生自身の取り組み	はい			いいえ
1) 意欲的に授業に参加しましたか	4	3	2	1
2) 授業の予習・復習などの自己学習をしましたか	4	3	2	1
3) 学生としての役割(積極的な発言、協調性等)は果たせましたか	4	3	2	1
4) 授業を受けるマナー(遅刻、居眠り、私語、携帯電話等をしないこと)を守れましたか。	4	3	2	1
2. 授業の内容について				
1) 授業の内容は量的に適切でしたか	4	3	2	1
2) 授業前後の課題の量は適切でしたか	4	3	2	1
3) 授業科目の難易度はあなたにとって適切でしたか	4	3	2	1
4) 毎回の授業のねらいは明確でしたか	4	3	2	1
5) 毎回の授業の内容は興味・関心が持てるものでしたか	4	3	2	1
6) 授業を受け満足感はありましたか	4	3	2	1
3. 授業の技法について				
1) 教員の話し方は適切でしたか	4	3	2	1
2) 教材(視聴覚教材を含む)や板書の使い方は適切でしたか	4	3	2	1
3) 授業のテキストや資料の活用は適切でしたか	4	3	2	1
4) 課題やレポートと授業内容の関係は適切でしたか	4	3	2	1
5) 発言や質問の機会は適切でしたか	4	3	2	1
6) 教室等の環境、整備は適切にされていましたか	4	3	2	1
4. 総合評価				
1) 教員の熱意を感じられましたか	4	3	2	1
2) あなたはこの授業科目の到達目標を達成できたと思いますか	4	3	2	1
3) この授業科目で得たものは多かったと思いますか	4	3	2	1
4) 総合的に考えてこの授業科目に満足できましたか?	4	3	2	1

5. この授業科目を履修して、よかったと思う点を、その理由とともに書いてください。

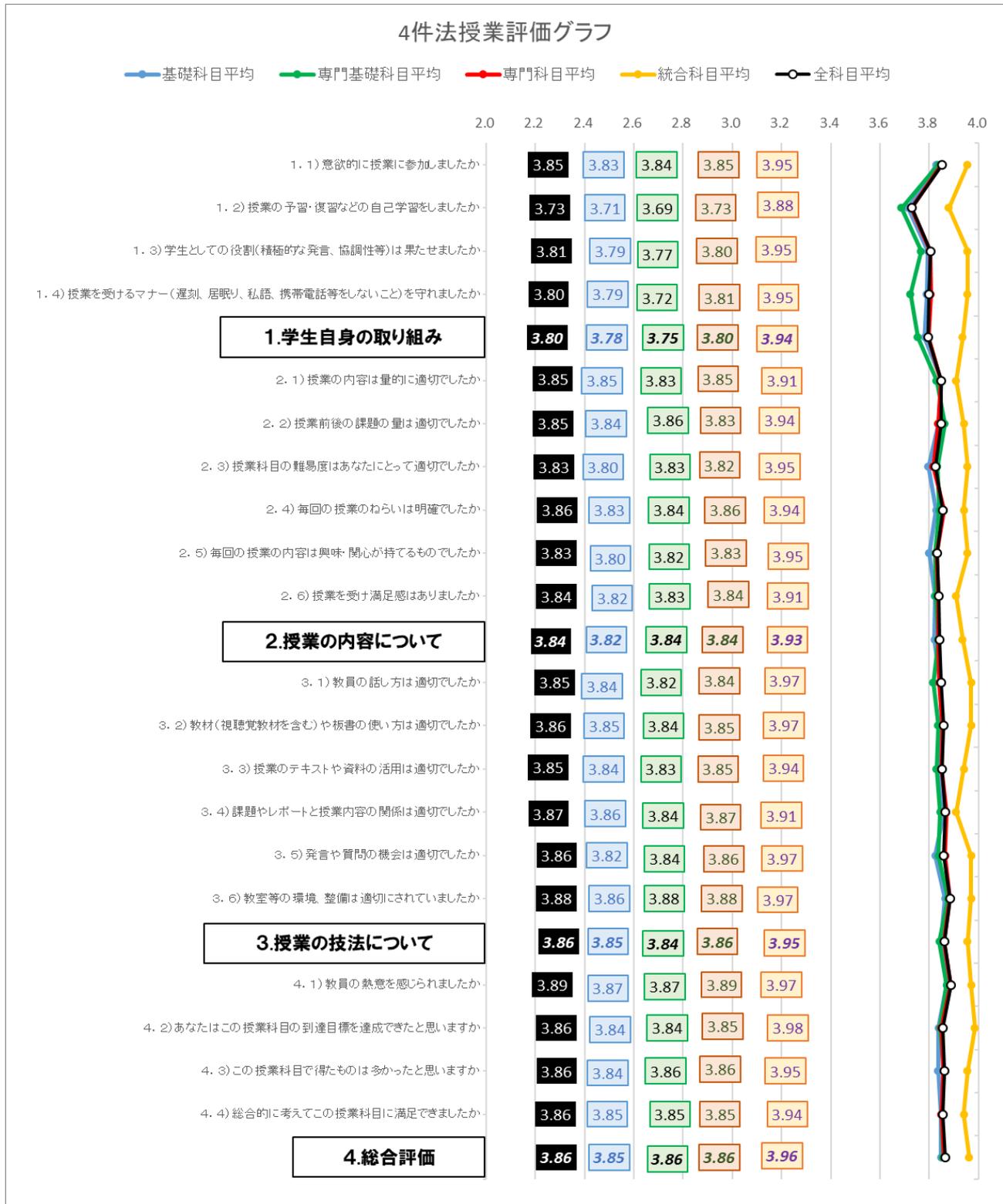
6. この授業科目を履修して、今後改善してほしいと思う点を、その理由とともに書いてください。

ご協力ありがとうございました。

令和 6 (2024) 年度後期 授業評価アンケートまとめ

授業評価対象科目数： 42 科目

基礎科目：9 専門基礎科目：7 専門科目：23 統合科目：3



令和 ()年度後期 授業改善報告書

授業科目名：	科目責任者または記入教員氏名：
(FD 委員会記入欄) 年生 基礎科目・専門基礎科目・専門科目・統合科目	
1. 学生に対する回答 (改善策) (受講した学生に向けて記述をお願いします。こちらは原文のまま公開させていただきます。)	
2. 受講している学生の状況や課題等、授業評価アンケートに対するご要望、ご意見等 (FD 委員会宛のご意見)	

令和 年 月 日 ()までにご返送願います。

令和 6(2024)年度後期・通年 授業改善報告書

1 年生	
授業科目名：人間関係	科目責任者または記入教員氏名：岡田 実
(FD 委員会記入欄)	1 年生 基礎科目 ・専門基礎科目・専門科目・統合科目
鉄は熱いうちに打て！ といいます。医療従事者としてその第一歩をゆるぎないものにして欲しいと思います。	

授業科目名：英語 I (基礎)	科目責任者または記入教員氏名：Lester Ng
(FD 委員会記入欄)	1 年生 基礎科目 ・専門基礎科目・専門科目・統合科目
It was a pleasure meeting you and getting to know you last year.	
Thank you for your feedback. I will take your comments into consideration.	
Let's do our best to communicate in English in the future!	

授業科目名：病態生理学	科目責任者または記入教員氏名：三浦 靖彦
(FD 委員会記入欄)	1 年生 基礎科目・ 専門基礎科目 ・専門科目・統合科目
ただ知識を詰め込むだけでなく、しっかりと理解し、臨床の現場でどのように役立つのかを身につけてもらおうと思い、かつ、国家試験の事前学習にもつながるようと思い授業を組み立てていましたので、授業内容に対する評価として、とても高い評価をいただき安堵しております。	
ただ、「意欲的に授業に参加できたか」「予習・復習などの自己学習ができたか」「学生としての役割を果たせたか」の項目については、平均値であったことから、この点についても次年度以降高評価が得られるような取り組みを考えたいと思います。	

授業科目名：メンタルヘルス論	科目責任者または記入教員氏名：岡田 実
(FD 委員会記入欄) 1 年生 基礎科目・ 専門基礎科目 ・専門科目・統合科目	
統計を更新しながら、メンタルヘルス上の各種の問題をとりあげます。	

授業科目名：疾病治療論 I (内科学)	科目責任者または記入教員氏名：三浦 靖彦
(FD 委員会記入欄) 1 年生 基礎科目・ 専門基礎科目 ・専門科目・統合科目	
<p>受講者 78 名中、アンケートに回答して下さったのが 18 名 (23%)と、とても低率であったため、全体の学生がどのように感じていたかがわかりませんが、回答して下さった学生さんからは、とても高い評価をいただきました。複数の教員 (非常勤含め) で担当している教科のため、評価も難しいかもしれませんが、18 名の方の評価をみると、どの教員も満足をいただける授業内容だったのではないかと思います。</p> <p>ただし、試験結果は厳しいものでしたので、これからも形態機能学や病態生理学と関連づけ「授業をしっかり聞いて復習をすれば、及第点が取れる」ような授業内容を考えていきたいです。</p>	

授業科目名：成人看護学概論	科目責任者または記入教員氏名：石井 真紀子
(FD 委員会記入欄) 1 年生 基礎科目・専門基礎科目・ 専門科目 ・統合科目	
<p>成人期にある人を、「身体面」や「生活」「健康観」「成人期の学習」を取り上げてその特徴を伝える授業でした。またグループワークを通して深めてもらいました。</p> <p>評価（スコア）は概ね良い点数でした。また自由記述の内容から興味を持って学んでいただいた様子がかがえしました。これからも皆さんの学習意欲を刺激できるよう、工夫しながら授業を行います。</p> <p>期末試験ではなくてレポートで成績を評価される場合は、提出が遅れると受け取ってもらえない（評価されない）ことになります。数名の方がそうでしたので気をつけてください。</p>	

授業科目名：老年看護学概論	科目責任者または記入教員氏名：吹田 夕起子
(FD 委員会記入欄) 1 年生 基礎科目・専門基礎科目・ 専門科目 ・統合科目	
<p>授業の良かった点として、高齢者の身体的・心理的特性を理解できた、高齢者を支える地域の制度などを知ることができた、高齢者が生活する場の特徴が理解できた、レミニッセンスを実際に行ってみたり、DVD を視聴したりできたので頭に入りやすかった、確認問題があったのもよかったなどの意見がありました。授業の内容（3.90）、授業の技法（3.91）は全体の平均得点よりやや高い得点で、概ね授業目的が達成できていると思いました。</p> <p>今後改善してほしいと思う点の意見は特にありませんでしたが、授業の予習・復習などの自己学習については、今後も課題内容等を検討していきたいと思います。</p>	

授業科目名：ヘルスアセスメント	科目責任者または記入教員氏名：土田 幸子
(FD 委員会記入欄) 1 年生 基礎科目・専門基礎科目・ 専門科目 ・統合科目	
<p>学生からのコメントでは、「解剖生理学の復習になった、収集した情報から正常を判断することの重要性、ヘルスアセスメントの意義など」があり授業目標は達成できたと考える。しかし、学生自身の取り組みの項目が専門科目の平均よりも低い評価であったが。これに直接関連するコメントはなかったものの、もっと学生が関心を持って取り組めるよう工夫していきたい。また、授業が他の基礎看護学の科目と同時進行であったため配布物の混同をしてしていただいたので、担当者間で検討していく。さらに、後期の臨地実習を見据えて演習開始前までにバイタルサイン測定を組み入れたが、時間を要し演習開始時間に食い込むこともあり、自主練の組み入れ方も検討していきたい。</p>	

授業科目名：小児看護学概論	科目責任者または記入教員氏名：濱中 喜代
(FD 委員会記入欄) 1 年生 基礎科目・専門基礎科目・ 専門科目 ・統合科目	
<p>授業評価ありがとうございます。全体に 7 割近い回答があり丁寧に評価して頂いたことに感謝いたします。全体に 3.9 前後の評価であり、安堵しました。</p> <p>自由回答には「授業の初めのグループ発表では、子どもに関するいろいろな問題があることを学べたのが良かった。授業は内容がかなり深く、考えさせられる内容もあったので、興味深かった。」や「良かったと思う点は、子供との関わり方について理解することができた点です。子供は年齢によってできること、できないことが変わってくるということを知り、対象の子供の年齢に合わせて看護していきたいと思ったからです。」など好意的な評価が多くあり、講義の意図が十分に伝わっていたことはありがたいことであると感じた。また改善が必要なことに声の聞こえにくさがあった。今後マイクの調整等に心掛けたい。</p>	

授業科目名：生活援助技術論	科目責任者または記入教員氏名：永井 睦子
(FD 委員会記入欄) 1 年生 基礎科目・専門基礎科目・ 専門科目 ・統合科目	
<p>授業評価全体では、みなさん意欲的に自己学習も行って授業・演習に臨まれたことがわかりました。また、演習で看護技術を学ぶ科目ですので、今年度は実習室での補習授業を追加し自己練習を促しました。看護を行っていくための日常生活の援助技術は今後の看護技術の基礎となる大切な技術ですので、非常勤教員の先生にも参加していただき指導を行いました。</p> <p>今後改善してほしいと思うこととして、指導内容の統一が図られていなかったり、教員によってやり方が違ったりしたことで混乱したという意見が複数ありました。この点については、教員間で共有し指導内容や対応が異ならないように改善していきたいと考えています。</p>	

授業科目名：看護理論	科目責任者または記入教員氏名：永井 睦子
(FD 委員会記入欄) 1 年生 基礎科目・専門基礎科目・ 専門科目 ・統合科目	
<p>ナイチンゲールやヘンダーソンをはじめとして、今後の看護学の学習の基礎となる、15 人の現代看護の探究者たちについても学ぶことができました。後半はグループワークを取り入れ、一人ではなかなか読み進められない本を読み、メンバーで共有したことで、理論家の考え方や看護をどのように捉えているかの理解を深めることができたと思います。また、全体で発表したことで、さまざまな理論家の特徴も感じられたと思います。回答率は高くなかった所以他にもご意見はあったかと思いますが、改善点の記載はなく、全体としてよく学んでいただいたと感じています。</p>	

授業科目名：母性看護学概論	科目責任者または記入教員氏名：橋本 美幸
(FD 委員会記入欄) 1 年生 基礎科目・専門基礎科目・ 専門科目 ・統合科目	
<p>母性看護学が人の一生にとっても大事な分野であることを理解し、興味をもって受講してくださったようで、大変嬉しいです。母性看護学という名前上、どうしても男性にとってあまり関係ない領域であると最初は感じる学生さんもおられるようですが、母性看護学は性別や年齢に関係なく、すべての人に大事な学問領域であることを理解し、興味をもって学んでもらえるような授業を引き続き考えていきたいと思います。</p>	

授業科目名：精神看護学概論	科目責任者または記入教員氏名：岡田 実
(FD 委員会記入欄) 1 年生 基礎科目・専門基礎科目・ 専門科目 ・統合科目	
<p>医療の激変に連動するように。精神医療も変化を求められることが多くなってきました。しかし、基本は患者さんの人権の尊重を遵守する姿勢と態度であることに変わりません。</p>	

2 年生	
授業科目名：みちのくの文化	科目責任者または記入教員氏名：塩谷 昌弘
(FD 委員会記入欄) 2 年生 基礎科目 ・専門基礎科目・専門科目・統合科目	
<p>本学における本科目の位置づけなどについて、説明不足だったところがあったようで、意欲的に授業に取り組めなかったという回答が多かったです。次年度以降、岩手保健医療大学において、なぜ「みちのくの文化」という科目があるのか、そのねらいを明確に示したいと思います。</p> <p>また、それと併せて自習、復習をしなかったという回答が多かったです。次年度以降、もうすこし適切な課題を提示することで、こちらも積極的に取り組めるような工夫をしたいと思います。</p>	

授業科目名：人間の生と死	科目責任者または記入教員氏名：宇佐美 公生
(FD 委員会記入欄) 2 年生 基礎科目 ・専門基礎科目・専門科目・統合科目	
<p>講義内容とテキストとの関連や、それをわかりやすくするための資料の提示に対する評価が低かったので、各回のテーマをふまえた説明の改善に努めると同時に、講義内容と関連するテキストの箇所を明示や資料の出し方を工夫したいと考えています。</p> <p>また授業の評価では、一方的な講義が中心で、話し合いや作業の時間の割合が少なかったという意見もありましたので、そのような作業の時間を増やすよう努めると共に、受講生の積極的参加を促す「問い」の改善に努めたいと考えています。</p> <p>評価をレポートだけにしたい、という意見もありましたが、この授業では、生と死にまつわる医療・ケアに関する諸問題への対応の仕方を、現場で当該問題に関わる人達の間で話し合い・説明できる能力の養成も目指しているため、授業で取り上げた問題について自ら考え、周囲の人達との話し合った結果の報告なども評価の対象にしたいと考えています。</p>	

授業科目名：健康とスポーツ	科目責任者または記入教員氏名：栗林 徹
(FD 委員会記入欄) 2年生 基礎科目 ・専門基礎科目・専門科目・統合科目	
<p>多くの皆さんに受講していただきありがとうございました。施設に制限があり十分な活動量が確保できない面もあったと思います。多人数に対応できる内容のさらなる検討を行いたいと思います。</p>	

授業科目名：人間と文化	科目責任者または記入教員氏名：上田 耕介
(FD 委員会記入欄) 2年生 基礎科目 ・専門基礎科目・専門科目・統合科目	
<p>全ての項目で、平均点を上回る評価してもらって、安心しました。私の担当する他の授業もそうですが、質問への回答コーナーが好評のようです。他の人が抱く疑問点を知ること、新たな視点が獲得できる、という感想がいくつかありました。多様な視点から人間にアプローチする、その手助けができたと思います。</p> <p>一方で、質問コーナーで1時間使うのはどうか、という少数意見もありました。もう少し簡潔にまとめる工夫をしていきたいと思っています。</p>	

授業科目名：公衆衛生学	科目責任者または記入教員氏名：伊藤 僚子
(FD 委員会記入欄) 2 年生 基礎科目・ 専門基礎科目 ・専門科目・統合科目	
<p>公衆衛生学は、社会経験のある人にとって理解しやすいのですが、まだ社会に出て働いた経験の無い学生には理解が難しい面があります。そこで本講義では、教科書に書いてあることだけでなく、学生本人の日常生活に生かしたり、就職後に使える知識を身に付けたりしてもらうことを重視しております。その意図が伝わったみたいです。</p> <p>本講義は、知識を得るだけでなく、公衆衛生的視点を養い、公衆衛生的考え方を理解することも目的としております。したがって、あてがわれた資料を丸暗記するのではなく、自分で調べて考え顶きたい。講義で紹介したグラフは厚生労働省や総務省が発表しているものです。</p> <p>『スライドのコピーを配って欲しい。』との意見もありましたが、是非、ご自身で調べ、講義で紹介していない統計も眺め、あれこれご自身で考えて頂きたいと思ひます。</p>	

授業科目名：チームケア論	科目責任者または記入教員氏名：上田 耕介
(FD 委員会記入欄) 2 年生 基礎科目・ 専門基礎科目 ・専門科目・統合科目	
<p>科目責任者の上田です。全ての項目で平均以下の評価となり残念でしたが、「チームケアという連携の部分だけでなく、各講義の先生方の経験に基づいた様々な現場の話を聞くことができ、学習だけでなく大変楽しく授業を受けられました」といったように、好意的な感想をたくさんいただきました。臨床経験豊富な先生方のお話を聞けるような授業構成にして、良かったと思ひます。</p> <p>その一方で、各回の感想提出の方法が一定でないので統一してほしい、とか、他の学生の疑問点なども知りたい、といった要望もありました。ご指摘ありがとうございます。感想の提出や各先生からのフィードバックのために、Classroom を活用したいと思ひます。</p>	

授業科目名：ヘルスプロモーション論	科目責任者または記入教員氏名：鈴木 るり子
(FD 委員会記入欄) 2 年生 基礎科目・ 専門基礎科目 ・専門科目・統合科目	
<p>授業評価にご協力ありがとうございました。</p> <p>授業評価では、概ね満足できていた結果でした。</p> <p>授業には皆さん真剣に取り組んでいました。特に、グループワークでは意見交換が出来る事や、他グループの意見を参考にできたなど学びが多かったとありました。</p> <p>ヘルスプロモーションの概念や行動戦略は、他の科目とも関係します。さらに自己学習に努めてください。</p>	

授業科目名：家族看護論	科目責任者または記入教員氏名：中村 由美子
(FD 委員会記入欄) 2 年生 基礎科目・専門基礎科目・ 専門科目 ・統合科目	
<p>学生の皆様に家族看護の必要性について理解していただき、科目担当者としてうれしく思っています。講義の中でもお話ししましたが、家族看護においては、家族を家族メンバーひとり一人理解するのではなく、家族全体として理解することで、家族に対して効果的な支援を行うことができます。是非、家族の皆様とお話ししてみてください。</p>	

授業科目名：母性看護技術論	科目責任者または記入教員氏名：橋本 美幸
(FD 委員会記入欄) 2年生 基礎科目・専門基礎科目・ 専門科目 ・統合科目	
<p>ご意見をありがとうございます。妊娠は病気ではなく生理現象だが、リスクがあることを学べた、母性のアセスメントの方法や看護過程の展開の仕方、書き方が分かった等の感想があり、大事なことを理解してもらえたのだと嬉しく感じます。</p> <p>一方、課題の量が多いので少なくしてほしいや講義で看護過程をやる時間をもう少し増やして欲しいという意見がありました。3年の実習のことを考えると課題を少なくするのは難しいですが、看護過程演習の時間を増やすことについては考えてみます。また、できるだけ早くに課題をみなさんにお伝えすることで、課題のための時間を確保できるようにしたいと思います。看護技術論は独立した科目ではありません。1年の母性看護学概論、2年の母性看護援助論、看護技術論と学修を積み上げて3年生の母性看護実習につながるような授業を考えていきたいと思っています。看護技術については、引き続き実習室を解放していきますので、自分で何度も繰り返し練習してマスターしましょう。</p>	

授業科目名：小児看護技術論	科目責任者または記入教員氏名：濱中 喜代
(FD 委員会記入欄) 2年生 基礎科目・専門基礎科目・ 専門科目 ・統合科目	
<p>授業評価ありがとうございます。今回2割強の回答に留まったことは学内演習日だったことへの配慮が足りなかったと反省している。そのなかで全体には大きく低い項目はなく、安堵している。</p> <p>自由回答には「子供に対する対応は成人と大きく異なるため、シミュレーションができたのがよかった。」「健康教育で対象年齢に合わせてどのような言葉を使うか、声のトーンはどうするかなど学ぶことが出来た点が良かった。理由は、実習に行った時に対象年齢に合わせた内容にすることができ、覚えてもらうことができると思ったから。」など好意的な評価が多くあり、演習が多い科目において、授業の意図が十分に伝わっていたことはありがたいことであると感じた。また改善が必要なことに「提出物の返却を早くしてほしい」があった。今後は早めの返却に心掛けたい。</p>	

授業科目名：老年看護技術論	科目責任者または記入教員氏名：吹田 夕起子
(FD 委員会記入欄) 2年生 基礎科目・専門基礎科目・ 専門科目 ・統合科目	
<p>授業のよかったと思う点として、「高齢者に対する観察の仕方やアセスメントなどについてしっかり学べた」「老年期のヘルスケアや特有の疾病などについて知ることができた」「演習や講義を通して学び深めることができた」「プリントの内容がわかりやすく良いと感じた」などが挙げられていました。</p> <p>また、改善してほしいと思う点として、「課題の量と期限が比例しておらず、非常に大変でした。他教科の課題もあるため、考量してほしい」や「先生たちの連携が取れていない」が挙げられていました。</p> <p>アンケート結果では、「授業前後の課題の量は適切でしたか」(3.52)、「授業科目の難易度はあなたにとって適切でしたか」(3.61)の回答が低く、全体的に前年度に比べ低い結果でした。演習の前後には事前・事後の学修資料を提示していますが、他の教科と演習時期が重なることもあるため、課題の内容や量、提出期日などについて検討し、改善していきたいと思います。また、教員間の連携をより密にし、学生が混乱しないように努めていきます。</p> <p>授業評価アンケートの回答率が41%と半数以下だったため、今後はアンケートの提出についても周知を徹底するよう努めていきます。</p>	

授業科目名：地域・在宅看護学概論	科目責任者または記入教員氏名：越納 美和
(FD 委員会記入欄) 2年生 基礎科目・専門基礎科目・ 専門科目 ・統合科目	
<p>授業評価アンケートにご回答いただきありがとうございます。自由記述からは制度や歴史的背景を併せて、また制度とお金の話を併せて説明することで、学生の理解が深まったことが伺え、授業を工夫した甲斐があったと、大変嬉しく思っております。</p> <p>今後の改善点としてスライドのフォントを見えやすいようにし、地域・在宅看護学に興味関心を高めることができるような授業をしていきたいと思っております。</p>	

授業科目名：ケア・スピリット論Ⅱ	科目責任者または記入教員氏名：石井 真紀子
(FD 委員会記入欄) 2年生 基礎科目・専門基礎科目・ 専門科目 ・統合科目	
<p>回答率が5割で低かったことは残念でした。大学全体で改善が必要な点です。検討して参ります。</p> <p>アンケートの点数を全体と比較すると授業内容に「意欲的に授業に参加したか」「自己学習をしたか」が目立って低い点数でした。改善してほしい点として「グループワークが多かった」「グループワークを1、2回減らして欲しい」という意見がありました。また、「有意義なグループワークができた」という意見もありました。さらにグループワークが多かったことで「積極的に自分の意見を出すことができた」「グループ学習を行う事で1人1人の考えるケアスピリットが分かった」「話し合いの授業が多くあり意見の共有ができ、より学びが深まった」という意見もありました。これらの意見は授業の構成を検討する際に参考とさせていただきます。今後も皆さんにとって有意義なグループワークを検討していきたいと思ひます。また「ケア・スピリットについて深く考えられた」「患者さんと接していくなかでケアスピリットを意識していくことが重要だということ学ぶことができよかった」「本学の理念を理解することで人として看護師として土台になりそうな内容だった」という意見は、今後の授業を構築していく上での励みになりました。</p> <p>以上より、今後も倫理的判断能力が培われるように「ケア・スピリット論Ⅱ」の学びを深められるように、教育方略や教育内容について検討し、改善を図って参ります。</p>	

授業科目名：精神看護技術論	科目責任者または記入教員氏名：岡田 実
(FD 委員会記入欄) 2年生 基礎科目・専門基礎科目・ 専門科目 ・統合科目	
<p>文字で提供された事例が、紙面上に立ち上がり、色々な所作をし始める位に、想像力を効かせて理解を深めるようにして欲しいと思ひます。</p>	

授業科目名：急性期看護論	科目責任者または記入教員氏名：石井 真紀子
(FD 委員会記入欄) 2年生 基礎科目・専門基礎科目・ 専門科目 ・統合科目	
<p>回答率が14%とかなり低かったです。最終回が演習であったことも影響していると考えます。アンケートに答えてもらう時間帯を検討します。看護過程のグループワークを今回は取り入れませんでした。他の人の記録内容を知りたかった・参考にしたかった、という意見がありました。看護過程をどのように進めたら効果的かについて検討します。</p> <p>スコア(点数)では、「意欲」や「予習・復習」「授業中のマナー」「授業の量」「教員の熱意」が目立って他の項目より低かったです。教員の熱意が足りないのが皆さんの「意欲」「授業中のマナー」に影響していたのかもしれませんが。その一方で、ある教員のメリハリある助言がよかったという意見もありました。皆さんへのかかわり方については、今後も担当教員間で検討して参ります。</p>	

3年生	
授業科目名：調査と統計	科目責任者または記入教員氏名：牛渡 亮
(FD 委員会記入欄) 3年生 基礎科目 ・専門基礎科目・専門科目・統合科目	
<p>今年度は、担当初年度ということで、受講生の皆さんの理解度をふまえて、授業内容をその都度調整しながら実施しました。そのため、時にシラバスに記載のある内容よりも基本的な内容や、逆に高度な内容も追加しながらの授業だったため、戸惑いを感じられた方もいたかもしれません。一方で、「これから看護研究をするために必要なことを学ぶことができた」「論文やデータを読み解く力がついた」といったコメントも多く、卒業研究に結びつく試行錯誤を経験いただけたのではないかと思います。</p> <p>改善点として、質問への指名制をやめてほしいというご意見をいただきました。この授業では、復習の一環としてこちらから指名し、前回の授業内容について回答いただいていた。回答できないことで気まずい思いをされたということであれば、次は答えられるように授業内容を復習してから授業に参加いただくことが適切な対処法です。「この授業は復習が大事だと思う」というコメントを寄せていただいた方のご指摘の通り、繰り返し復習することで実際に使いこなせる力が身につきますよ。</p>	

授業科目名：疫学・保健統計Ⅱ	科目責任者または記入教員氏名：坪田 恵
(FD 委員会記入欄) 3年生 基礎科目・専門基礎科目・ 専門科目 ・統合科目	
<p>この大学での初めての授業だっただけに、果たしてどこまで理解してもらえたか、ついていけていたのか、不安でしたので、率直なご意見を戴き、感謝申し上げます。</p> <p>まずは今回の方向性や内容については、満足してもらえる充実（しすぎた）内容であったということが理解できました。一方で、①保健統計Ⅰでやっていた内容とは言え、なじみのない疫学の知識を活用しての計算について、②パソコンの使用法(Excel)については、「これでもか！」位にもっと丁寧な説明に時間を割いた方がいいこと、を理解しました。</p> <p>他方、時間割りにについては集中講義のような形式でアップアップしてしまった学生もいたようですが、1回1-2時間等にしてしまうと次回忘れてしまった状況でまた進む羽目にもなりかねず、次年度も今回の時間割りで行きたいと考えます。</p> <p>皆さまにいただいた「ここをもっと詳しく」「もっと知りたい」の貴重なご意見を真摯に受け止め、さらなる改善を目指していきます。ありがとうございました。</p>	

授業科目名：看護教育論	科目責任者または記入教員氏名：永井 睦子
(FD 委員会記入欄) 3 年生 基礎科目・専門基礎科目・ 専門科目 ・統合科目	
<p>この科目を担当したのは初めてで、看護教育論は選択科目でしたが、37 名と多くの方が選択してくださいました。授業評価アンケートでは、回答が 9 件と少なかったため、ほかにもご意見があったかとは思いますが、最終回の授業において看護教育で必ずふれるナイチンゲールについての復習を入れたことで理解が深まったという意見がありました。また、グループワークを取り入れスライドを使用しない授業形式にしましたが、普段の授業と異なるためか、スライドを映してほしいという希望がありました。授業資料の改善もしていきたいと思っております。</p>	

授業科目名：エンドオブライフケア論	科目責任者または記入教員氏名：石井 真紀子
(FD 委員会記入欄) 3 年生 基礎科目・専門基礎科目・ 専門科目 ・統合科目	
<p>「授業内容 (量的)」と「教員の熱意」は満点 (4 点) の評価でした。この他にも「皆さんの授業意欲」「教員の話し方」「教材の適切さ」「課題やレポートと授業内容の関係」等についても高い評価 (3.96) でした。教員の熱意や授業内容、技法等と皆さんの関心や意欲が程よくブレンドされた授業ができたと考えております。引き続き、振り返りをしながら授業を行っていきたくと考えております。</p> <p>予習・復習 (3.70 点) や授業に対するマナー (3.74 点) が点数が低かったことから、具体的に課題を提示したり、マナーが悪い場合には注意することが必要と考えました。</p> <p>回答率が 5 割で低かったことは残念でした。大学全体で改善が必要な点です。今後検討して参ります。</p>	

授業科目名：地域・在宅看護援助論	科目責任者または記入教員氏名：越納 美和
(FD 委員会記入欄) 3 年生 基礎科目・専門基礎科目・ 専門科目 ・統合科目	
<p>学生授業アンケート評価は、総合評価は、4.0 で、ほとんどの項目が 3.9 以上の評価でした。担当教員一同、大変嬉しく思っております。</p> <p>自由記載では、最新の在宅医療や機器などをレンタルした授業について多く書かれていました。様々な種類や機能を手に取り、学ぶことで在宅看護学への興味と感心を高めていることができたが伺えました。来年度の授業にも実践を取り入れた授業展開を進めたいと思います。</p> <p>改善してほしいと思う点には記載はありませんでしたが、更に在宅看護学に興味関心を高めることができるような授業をしていきたいと思っております。</p>	

授業科目名：公衆衛生看護方法論	科目責任者または記入教員氏名：鈴木 るり子
(FD 委員会記入欄) 3 年生 基礎科目・専門基礎科目・ 専門科目 ・統合科目	
<p>授業評価にご協力ありがとうございました。</p> <p>授業評価では、概ね満足できていた結果でした。</p> <p>授業には皆さん真剣に取り組んでいました。</p> <p>公衆衛生看護方法論は、公衆衛生看護活動に特徴的な援助方法の理論と技術についての科目です。成績評価は筆記試験 60%、実技試験 20%、演習 20%となっており、実技試験では 2 人 1 組で母子の事例を基に家庭訪問技術試験を実施しました。その他、演習では地域アセスメント・特定保健指導・乳幼児健康診断・家庭訪問の実際に取り組み、講義時間以外の時間調整をして臨んだと思っております。</p> <p>公衆衛生看護方法論は他の科目とも関係します。さらに自己学習に努めてください。</p>	

授業科目名：公衆衛生看護管理論	科目責任者または記入教員氏名：鈴木 るり子
(FD 委員会記入欄) 3年生 基礎科目・専門基礎科目・ 専門科目 ・統合科目	
<p>授業評価にご協力ありがとうございました。</p> <p>授業評価では、概ね満足できていた結果でした。</p> <p>特に、公衆衛生看護管理論では、保健師の新任期から担うことになる地区管理から予算・情報管理等について、演習やグループワークで意見交換が出来た事や、他グループの意見を参考にできたなど学びが多かったとありました。</p> <p>公衆衛生看護管理論では、行政分野における基本構想計画、行財政のしくみや議会対応を含む予算編成についても学を深めたと思います。さらに自己学習に努めてください。</p>	

4 年生	
授業科目名：救急看護論	科目責任者または記入教員氏名：土田 幸子
(FD 委員会記入欄) 4 年生 基礎科目・専門基礎科目・専門科目・ 統合科目	
<p>回収率が 45%と低いですが、回答者からは全体として 4 以上の評価であった。実技やゲストスピーカーからの実際の現場の話聞き、現場の状況をイメージでき、少人数の演習で質問しやすかった、最後に実践で役立つような演習ができたなどが挙げられた。次年度からは、科目が変更となるが 4 年次の演習科目として卒後教育へ連動できるよう工夫していきたい。</p>	

授業科目名：臨床倫理	科目責任者または記入教員氏名：濱中 喜代
(FD 委員会記入欄) 4 年生 基礎科目・専門基礎科目・専門科目・ 統合科目	
<p>授業評価ありがとうございます。全体に 3 割程度の回答に留まったことは残念でした。評価は自己学習、内容の量、満足度、レポートにおいてやや低い結果評価でした。その一方で自由回答には「グループワークが多く、意見交換を通して新しい視点をみつけることができた。」「ロールプレイやグループワークが多く、様々な意見を聞く機会があって良かった。」「臨床倫理の講義を履修して良かった点は、患者や家族、医療者それぞれの立場や価値観の違いを理解しながら、最善の医療を選択するための視点や思考法を学べたことです。具体的な事例を通して、現場で起こり得る葛藤に対する実践的な対応を学ぶことができ、今後の看護実践に役立つ貴重な学びとなりました。」等が多くあり、この科目の価値を十分に理解してもらえたことはありがたいことであった。</p> <p>改善が必要なことには、この時期に授業を行うことへの批判や GW に参加していない学生への不満、レポート課題に対する負担感などの指摘もあった。今年度は週に数回入れ込むことで早く授業が終了するように工夫したものの、4 年後期に授業を入れる難しさも痛感した。後期においても国試以外の学修をしたことに価値があると感じられるように今後も工夫していきたい。</p>	